



どんぐりの結実状況調査

平成25年から毎年、8月中旬から9月上旬にどんぐりの結実状況調査を行っています。調査は、ツキノワグマ（以下、クマ）の秋期（9月から11月）の人里への出没と捕獲数が、秋の主要な食物であるどんぐりの実り具合で変わると言われていること、そして、クマだけではなくイノシシやサルなどの大型哺乳類等もどんぐりを利用していることから、クマ等の大型哺乳類が秋期に人里へ出没する可能性の大小を把握し、注意喚起に役立てる目的で行っています。

調査結果は、毎年東京都に報告しています。

調査方法

樹冠全体の結実状況を目視で確認し、下の判定基準を基に評価しています。樹種によって調査本数は異なりますが、計205本を調査しました。

市西部の4つの区域ごと、樹種ごとに結果を出しています。

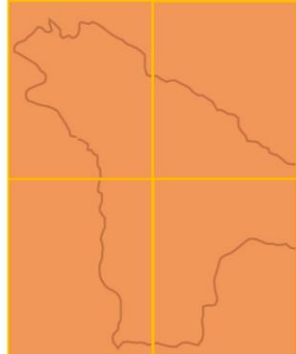
豊作	全体にたくさん
並～豊作	豊作と並作の間
並作	一部にたくさん 又は全体にまばら
不～並作	並作と不作の間
不作	全体に数個
凶作	全くない

調査しているどんぐり(調査時期の写真)



結果

〔区域ごと〕



不～並作

市の西部全体の結実状況
「不～並作」

昨年(不作)より、
少し良い結果となりました。

〔樹種ごと〕

樹種	ブナ	ミズナラ	ヤマグリ	コナラ
結果	不～並作	不作	並作	不～並作

野生動物を人里に引き寄せない・人身被害を防止するための対策

- ★ クリやカキ、キウイフルーツなどの果実の収穫
- ★ 養蜂巣箱や不要となった農作物の管理
- ★ 決まった時間のゴミ出し
- ★ 野生動物が隠れそうな藪の刈払い
- ★ 早朝や夕方の入山を避ける
- ★ 山に入る際の心構えと準備 ……など

ご協力をお願いします

第14期 森の子コレンジャー 9月2回分の活動報告

9月のコレンジャーは、上旬と下旬の2回活動しました。テーマは「森林レンジャーが行う調査活動を知る体験と季節の自然発見!」です。

1回目は、まだまだ暑かった~(+_+)。そのためか山登りと調査は大変そうでしたが、時々吹く心地よい秋風に元気をもらいました♪2回目は、一転して涼しい気温となりましたが期待していた秋風はあまり吹きませんでした(涙)。

調査体験以外にも、多様な季節の動植物を発見しただけではなく、私たちにとって危険な生き物「ヒロヘリアオイラガ(幼虫)」や「チマダニの仲間」にも出会いました。そして、珍しい蛇「シロマダラ」が道路でひかれていたことからロードキル問題を知りました。

上旬にはアブラゼミとツクツクボウシの鳴き声、下旬にはコオロギの仲間やシカの鳴き声に耳を澄まし、季節の移ろいを体感した9月の活動となりました。次回は11月です!



季節の自然発見 ~キッコウハグマ~



閉鎖花

暑さをこらえながら山に登る夏。

足元に、五角形の葉と長く伸びた茎の植物に出会います。山地のやや乾いた木陰に生える多年草、キッコウハグマ(亀甲白熊)です。

亀の甲羅の形に似た葉と、ウシ科のヤクという動物の尾の毛で作った飾り「白熊」^{はぐま}に似ていることが名前の由来と言われています。

じつは、花には白熊に似た純白の花(開放花)と蕾の状態のまま自家受粉する閉鎖花^{かいほうか}の2種類があり、しばしば閉鎖花をつけるので純白の花に出会うチャンスの方が少ないです。

1cm程の小さな開放花をよく見ると、3つの小さな花が集まっています。更によく見ると、花卉の先端がグリンツと丸まっています。とても愛らしい♪小さな花の美しさと、ようやく出会えた喜びに思わず拍手をしてしまう秋の花。今年は10月8日現在、未だ出会えていません…

出会えたらぜひ観察してみてください♪

9月下旬。閉鎖花に擬態しているように見えるオナガグモがいました(◎o◎)